

文部科学大臣杯・国土交通大臣杯

国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2019

競技会概要

- 1 競技会名 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2019
- 2 開催趣旨 全国の連盟登録ジュニアヨットクラブと海外チームのジュニアセーラー達が一堂に会して、日頃鍛えた帆走技術とシーマンシップを競い合い、その向上を図るとともに、海外チームとの交流により国内ジュニアセーラー達が国際感覚を磨き、その視野をひろげ、また地元地域の子供たちとの触れ合いを通して健全な水辺スポーツとしてのヨットを啓蒙、普及させて、生涯スポーツとしてのヨットの発展に貢献することにあります。
また、安全講習会においては各チームを代表して参加している選手に対し、海上交通安全、海難事故防止の為に必要なシーマンシップに関わる内容に基づいた講習を行い、大会全般を通じて安全な競技活動意識の向上を図ります。
更に、世界各国のジュニアセーラー、指導者を招待して日本全国のジュニアセーラー達がこの交流試合を通して世界レベルの選手に成長する機会となることを期待します。
- 3 主催 一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟（以下JJYUと云う）
- 4 後援 スポーツ庁 国土交通省
江東区 江東区体育協会
公益財団法人日本セーリング連盟（以下JSAFと云う・承認番号 2019-04）
公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(以下YMF Sと云う)
日本オプティミストディンギー協会(以下OP協会と云う)
日本レーザークラス協会 日本 420 協会 株式会社舵社
- 5 協賛 アサヒ飲料株式会社
ヤマハ発動機株式会社 若洲シーサイドパークグループ
株式会社 フォーチュン 東京ウォータータクシー株式会社
- 6 協力 NPO 法人マリンプレイス東京 東京都ヨット連盟 スバル興業株式会社
東京海上保安部 東京湾岸警察署
夢の島ヨットクラブ 江東区ヨット連盟 中央区ヨット連盟
江東区立小中学校セーリング部 日本大学松戸歯学部ヨット部
早稲田大学高等学院ヨット部 東京都立日本橋高等学校
国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2019 参加クラブ指導者・保護者
- 7 運営 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2019 実行委員会

8 競技会役員	会長	石原伸晃	J J Y U会長
	副会長	佐藤精知夫	J J Y U会長代行
		安井 清	J J Y U副会長
		鈴木 修	東京都ヨット連盟会長代行
	名誉顧問	山崎孝明	江東区長・東京都ヨット連盟顧問
		河野博文	J S A F会長
	委員長	伊藤雅宣	J J Y U専務理事
	副委員長	浜崎濠次郎	NPO 法人マリンプレイス東京理事長

9 期 日 令和元年8月2日(金)、8月3日(土)、4日(日)の3日間

10 行事日程

競技会受付	8月2日	08:00~12:00	※
練習会(詳細は受付時)		12:30~14:00	
開会式		16:30~17:30	
安全講習会		17:30~17:50	
競技運営説明会		17:50~18:20	
国際交流会とイベント		18:30~20:00	
競技会第1日目	8月3日	09:30~	
指導者研修会	8月3日	19:00~20:00	※
競技会第2日目	8月4日	09:30~13:00	
閉会式		16:00~17:00	

※受付時間に間に合わないクラブは事前に実行委員会に連絡し了解を得る事。

※公認指導員の認定を希望する指導者は、事前にJ J Y U事務局に申請書を提出して本指導者研修会を受講することにより、認定を受けることができます。

11 会 場 東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所

〒136-0083 東京都江東区若洲3丁目1番1号

連絡電話 03-5569-6703 (指定管理者 若洲シーサイドパークグループ)

※開会式・国際交流会会場：マリナーズコート東京

〒104-0053 東京都晴海4-7-28 連絡電話 03-5560-2525

※競技海面：東京湾若洲沖(OP級上級者、レーザー4.7、国際420級)

及び東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所ポンド内(OP級初級者)

※閉会式会場：東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所内

※指導者研修会：東京海員会館 会議室

12 競技種目 (1) OP級初級者 (2) OP級上級者 (3) レーザー4.7
(4) 国際420級

13 競技内容 (1) 種目別個人対抗レース
①国内ジュニアヨット種目別個人対抗レース
②国際交流ジュニアヨット種目別個人対抗レース

(2) ジュニアヨットクラブ対抗レース

- ①国内ジュニアヨットクラブ対抗レース
 - ②国際交流ジュニアヨットクラブ対抗レース
- ※詳細は別紙「レース公示」の通りです。

14 表彰

(1) JJYU 特別賞表彰

- ① 小澤吉太郎特別賞：シーマンシップに溢れる選手、指導者またはクラブを表彰します。
- ② 国内ジュニアヨットクラブ対抗レース特別表彰
上位3クラブの選手（各クラブ1名）をJJYUが主催する海外セーリング研修に派遣、その渡航費の一部を援助します。
なお、当連盟の海外研修の目的から、各クラブにおいて派遣選手を選抜する際に下記の通りのことを配慮するものとします。
 - イ. 本競技会に参加した選手であること。
 - ロ. 過去に海外セーリング(競技大会やセーリングクリニック等で)の経験のない選手であること。
 - ハ. 連盟の指導者が引率するが、基本的なこと(生活、練習等)は自分で出来ること、積極的にコミュニケーションが取れること。(語学が上手ということではない)
 - ニ. 挨拶、礼儀がきちんとできること。
 - ホ. ホームステイを前提とするので、楽しく明るく生活できる心を持った人であること。
- ③ 国際交流クラブ対抗レース特別表彰
最高順位の海外チームにJJYU 会長特別杯（※）と賞状

(2) 団体表彰：（「ヨットクラブ競技会」の名称に従って団体表彰から表彰）

- ① 1位・JJYU 会長杯と賞状、2位・JJYU 会長盾と賞状、3位・JJYU 会長盾と賞状

(3) 個人表彰

① JJYU 表彰（日本選手対象）

- ・OP 級上級者：1位・特別表彰として競技会の冠たる文部科学大臣杯とJJYU 会長賞状と金メダル以下、2位・JJYU 会長賞状と銀メダル、3位・JJYU 会長賞状と銅メダル、以下6位までJJYU 会長賞状授与
- ・OP 級初級者：1位・特別表彰として競技会の冠たる国土交通大臣杯とJJYU 会長賞状と金メダル以下、2位・JJYU 会長賞状と銀メダル、3位・JJYU 会長賞状と銅メダル、以下6位までJJYU 会長賞状授与
- ・レーザー4.7：1位・特別表彰として東京都ヨット連盟会長杯（※）とJJYU 会長賞状と金メダル以下、2位・JJYU 会長賞状と銀メダル、3位・JJYU 会長賞状と銅メダル授与
- ・国際420級：1位・特別表彰として江東区長杯（※）とJJYU 会長賞状と金メダル、以下、2位・JJYU 会長賞状と銀メダル、3位・JJYU 会長賞状と銅メダル授与

② 国際交流表彰（日本選手と外国チーム選手対象）

- ・OP 級：1位・JJYU 会長賞状と金メダル、2位・JJYU 会長賞状と銀メダル、3位・JJYU 会長賞状と銅メダル授与

- 外国選手の1位 JJYU会長特別杯(※)とJJYU会長賞状授与
 ・レーザー4.7:1位・JJYU会長賞状と金メダル、2位・JJYU会長賞状銀メダル、
 3位・JJYU会長賞状と銅メダル授与
 外国選手の1位 JJYU会長特別杯(※)とJJYU会長賞状授与

(※) 印以外の賞杯は持回りとし、翌年返還時にレプリカを授与する。

15 参加資格

- (1) 国内参加選手は2019年度JSAF会員である者
 会員未登録の場合は参加受付時に会員登録の申込を受付けます。
- (2) JJYUに登録しているジュニアヨットクラブの提出する2019年度ジュニアセーラー名簿記載の選手
 万一、未登録クラブの選手の場合は参加申込み時までにクラブの登録をして参加資格を取得して下さい。
- (3) 主催者が招待した海外チームの選手
 招待する海外チームの国は次の4ヶ国の予定
 オーストラリア、韓国、ニュージーランド、台湾
- (4) 主催者が参加を認めた選手
- (5) 各級の年齢制限(2019年4月2日現在)を満たす者
 *OP級・・・・・・・・・・・・・・・・ 6歳以上15歳以下
 *レーザー4.7・・・・・・・・・・・・ 12歳以上18歳以下
 *国際420級・・・・・・・・・・・・ 12歳以上18歳以下

16 参加料等

(1) 参加料

- 選手・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9,000円/1人 (交流会費・弁当代・艇置料込)
- JJYU未登録クラブの選手・・・・・・・・ 13,000円/1人 (交流会費・弁当代・艇置料込)
- 2人乗り艇(420級の選手・・・・・・・・ 16,000円/1艇 (交流会費・弁当代・艇置料込)
- 2人乗り艇でJJYU未登録クラブの選手・・ 18,000円/1艇 (交流会費・弁当代・艇置料込)
- 指導者・保護者・・・・・・・・・・・・ 3,000円/1人 (交流会費込)
- JJYU未登録クラブの指導者・保護者・・ 5,000円/1人 (交流会費込)
- 同伴小中高生・・・・・・・・・・・・ 2,000円/1人 (交流会費として)

※参加料は、単に選手のレース参加料のことだけでなく選手の応援、援助で本競技会に参加していただく指導者、保護者の参加料のことも含めるものです。

同伴者も全員参加してください。レースに参加しない小中高生は交流会費としての参加料2,000円/1人をご負担下さい。

なお、19項に記載の参加申込期限(6月30日)以降の参加申し込みにつきましては7月12日

までは受け付けますが、レイトエントリー料として一人乗り艇については1艇2,000円、二人乗り艇については1艇3,000円が上記参加料に追加になります。

(2) 弁当(飲物付き)は参加選手全員に3日間無料配布します。

指導者・保護者、同伴小中高生で弁当希望者は、600円/個(飲物付き)ですので、クラブでまとめて、申込書に競技会の日程ごとに希望数を記入して申し込んで下さい。

※競技会最終日(8月4日)の昼食のカレーは全員に無料で提供します。

【注意事項】

※本競技会前7月26日以降の参加取り消しは原則として参加料等の返却は致しません。

※本競技会に参加料等を支払った選手、指導者、保護者、同伴小中高生には参加の証として参加者全員に参加賞を用意します。

※交流会費を支払った証として競技会参加タグを配布しますので、交流会の時は胸に掛けて下さい。

※東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所へのヨット、サポートボートの持ち込みについて利用料が徴収されることになりましたが(夫々1艇1日当たりヨットは500円、サポートボートは750円)本年はいずれも競技会で負担します。

※東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所の指定管理者が駐車場料金(500円/日)を徴収しますので、直接個別にお支払い下さい。

(3) チャーターボートについて

OP級、レーザー4.7、国際420級についてチャーター艇の用意があります。

但し隻数、艇の状態については限度がありますので希望に添えない場合がありますが実行委員会に照会の上、参加申込書に記入して申し込んで下さい。

チャーター料は(競技会期間中)以下の通りです。

OP級(国産艇)	5,000円
レーザー4.7(一式)	14,000円
国際420級(一式)	20,000円

(OP級は国産艇ですが、初級者、上級者どちらにも貸与します。)

尚、選手自身の責任による衝突その他による艇、備品の破損等の修理代を担保するために、クラブとしてデポジット20,000円を参加料と共に納入して下さい。

特に何も問題がない場合には、競技会終了後出来るだけ速やかに返金しますので、振込先を記入して下さい。

17 参加申込方法

所定の「参加申込書」と「参加選手リスト」(名前には必ずフリガナを付けて下さい)に必要な事項を記入の上、期限までに下記の申込み先宛てにメール(又はFAX)して下さい。申し込みファイルの様式は下記申し込み先のメールアドレスにお問合わせ下されれば返信いたします。連盟のホームページからもダウンロード可能です。

(申し込み内容をプログラム等に正確に反映する為、可能な限りエクセルDataでの申し込みをお願い致します。)

参加申込みと同時に、参加料等はJ J Y Uの下記銀行口座へ振込手続きをして下さい。

(振込手数料のご負担をお願いします)

《参加申込み先》

国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会実行委員会

塩野崎 英二（J J Y U 常務理事）

E-mail e-shio@ozzio.jp

FAX 045-944-3522

電話 045-944-3522

携帯電話 090-2734-8611

《参加料等振込先》三井住友銀行 新橋支店

普通預金口座番号 1417976

口座名義 一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟

シヤ) ニホンジュニアヨットクラブレンメイ (全角カタカナ)

18 申込み期限

「参加申込書」、「参加選手リスト」のメール/FAX 及び参加料等の振込は
令和元年6月30日(日)までに必着とします。

やむを得ず参加者の変更がある場合、7月12(金)を最終期限として受け付けます。

19 宿泊の紹介 競技会期間中の宿泊は下記2施設が競技会会場への至便施設になります。ご参考のう
え各自でお申込下さい。この時期は夏休みの予約で大変混み合いますので早めに予約を
済ませて下さい。

・東京海員会館 中央区晴海 3-7-1 TEL03-3531-2216

・マリナーズコート東京 中央区晴海 4-7-28 TEL03-5560-2525

- 20 留意事項
- * 本競技会は選手を教育、指導する目的を有するものですから、その所属するクラブの指導者・保護者が競技会及びレース運営について意見や疑義を申したてる場合は、参加申込みをした指導者・保護者のうち、あらかじめ届けのあった指導者代表者1名(J J Y U 公認指導員であること)に限定されるものとしてします。
 - * 本競技会は選手の安全を第一とするために、出艇及び帰着申告はその所属するクラブの指導者・保護者が責任をもって自分のクラブの全選手についての届出をすることとします。
 - * 競技会参加者は自らスポーツ傷害保険及び損害賠償責任保険に加入して下さい。
 - * 競技会参加者は健康保険証(カードまたはコピー)を持参して下さい
 - * 熱中症予防のため、帽子・パラソル・テント等の日除け及び飲料水を用意して下さい。

21 障害者への対応について

- (1) 競技会の会場、東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所には、車椅子対応のトイレットが2ヶ所設置されております。

- ヨットその他の艇に乗艇される方のために車椅子対応の棧橋が設置されています。
レース観戦のための展望台へ行くため車椅子対応のスロープを設置しております。
- (2) 障害者の方の競技会参加に際しては、対応運営委員2名を陸上本部（受付）に配置して案内をさせていただきます。

22 肖像権について

参加者は、本大会に参加することにより、大会期間中の選手又は本大会における選手の装備に関する動画、スチール写真及び生中継、録画あるいは映像またはその製版について、対価を求めることなく、大会実行委員会、JJYU及び後援・協賛・協力各社に独自の判断で使用する権利を与えるものとする。

【問合せ先】

国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会実行委員会

塩野崎 英二（JJYU常務理事）

E-mail e-shio@ozzio.jp

FAX 045-944-3522

電話 045-944-3522

携帯電話 090-2734-8611